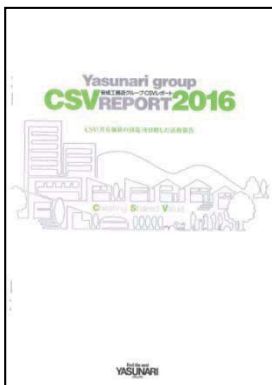


地域工務店日本初！※) CSVレポート発行

～地域工務店でつくる「あるべき社会の姿」、共有価値の創造～

さらなる向上を目指し、グループ全体の取組みを共有
社会とのコミュニケーションを深める

※) 当社調べ



安成工務店グループ
CSVレポート2016

2016年4月15日、株式会社安成工務店(山口県下関市/代表取締役 安成信次)は、グループ会社6社と共に「安成工務店グループCSVレポート2016」を発行しました。このレポートは安成工務店創立65周年事業として作成されたもので、地域工務店では日本初※)のCSVレポートとなります。

●CSVとは…

CSV(Creating Shared Value)とは「共有価値の創造」という意味で、自社の強みを活かした社会の課題解消の解決への貢献を図ることです。自らが環境・社会に及ぼす影響への責任を果たすこととされているCSR(企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility)と、共通している部分もある概念ですが、より自社の事業戦略に密接に関連して社会の課題解消を目指す概念です。

●安成工務店グループのCSV

環境共生住宅や地域コミュニティの形成など環境問題や社会課題を解消しながらお客様に製品やサービスを提供するという考え方が、当社グループにおけるCSV活動と考えています。

安成工務店グループでは、28年前のOMソーラーハウス(太陽熱利用床暖房換気システム)をきっかけに環境共生住宅の家づくりへの道を歩み始めました。この出来事は安成工務店がお客様へ提供する住宅と環境の関係性を考えるきっかけとなりました。その後、地域住民とのコミュニケーションを図る活動を進めるなど、当社のような地域工務店がお客様や社会に対して何が出来るか? どのような貢献ができるか? という観点で様々な活動を実施してきました。

●CSVレポートの発刊

安成工務店グループはこれまでの活動を踏襲しながらも、更に中長期的な視野を持って社会状況や経済状況を鑑みた社会意義のある活動を行っていくことで、より企業経営を堅実にしていくことを目指しています。

そこで、創立65周年の節目にこれらの活動を体系的に5つの重点活動項目(「環境保全」・「省エネ・省CO₂」・「ひと」・「健康」・「まち・コミュニティー」)に整理したCSVレポートを発行しました。

これは、事業活動の中で推進していくお客様へお知らせすると共に取組みのさらなる向上をねらい、グループ社員間の共通認識を深め、社会とのコミュニケーションを図ることを目的に発行したものです。

●「安成工務店グループCSVレポート2016」内容

- ・会社概要
- ・安成グループ
- ・安成グループの歩み
- ・トップメッセージ
- ・ビジョンと活動方針
- ・安成グループCSV基本方針
- ・CSV戦略1：環境保全
- ・CSV戦略2：省エネ・省CO2
- ・CSV戦略3：ひと
- ・CSV戦略4：健康
- ・CSV戦略5：まち・コミュニティー
- ・KPI（Key Performance Indicator）
- ・マテリアルバランス
- ・主な受賞履歴



●安成工務店グループの目指す「あるべき社会の姿」

私たちは建材に出来るだけ自然素材を多用し、地域の山林資源の循環を守り、手で加工する職人の技術や職能を守って行きたいと考えています。それによって全国画一的な住まいでなく地域の街並みを再構築し、手で仕事をする職種の誇りを取り戻し、新たな社会秩序の構築したいと考えています。

「地域の工務店でしか作れない家づくりや街づくりを目指していく」

これが安成工務店グループが目指す「あるべき社会の姿」であり、今後もその実現に向けさらに社会へ有益となるよう事業活動を展開します。

●安成工務店グループ

安成工務店を親会社とするグループ企業。全体社員数264名、平成27年度売上高144億6,400万円。主に山口県・福岡県で事業活動を行う。デコスのみ全国展開。代表取締役はすべて安成信次。



- ・住宅事業・建築事業・商業開発事業



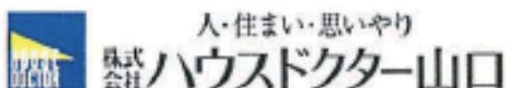
- ・断熱材製造メーカー・FC事業・不動産事業



- ・化粧構造材プレカット事業・住宅事業・太陽光発電事業



- ・土地活用・中高層建築事業・住宅事業



- ・リフォーム事業・メンテナンス事業



- ・介護事業・管理運営事業



- ・不動産事業

●お問合せ先

株式会社 安成工務店 総合企画室 担当：竹藤 勲

〒751-0865 山口県下関市綾羅木新町3-7-1

TEL：083-252-2419 Mobile：080-6408-4291

E-mail：yasunari@yasunari-komuten.co.jp

<http://www.yasunari-komuten.com/>

Yasunari group

安成工務店グループCSVレポート

CSV REPORT 2016

CSV(共有価値の創造)を目指した活動報告



Creating Shared Value

植樹本数
 累計
1,940本
 (2015年12月末現在)



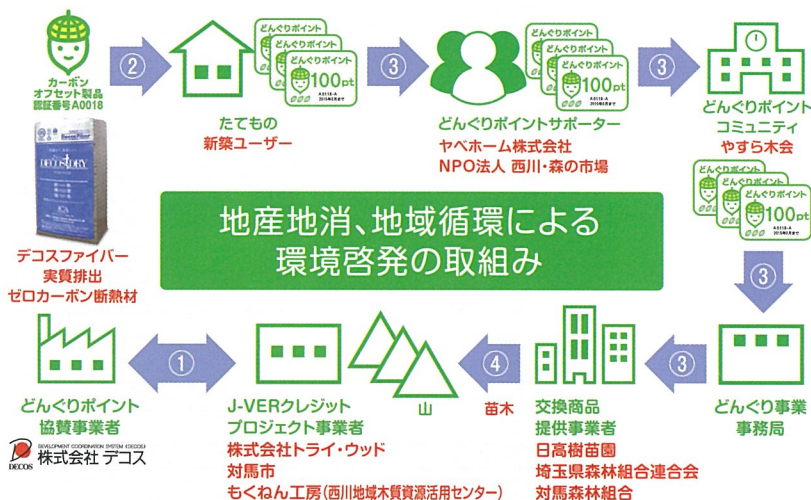
カーボン・オフセット制度とどんぐりポイントによる植樹・林産地活動支援

株式会社デコスは、経済産業省「どんぐりポイント制度」に参加し、デコスファイバーのCFP(カーボンフットプリント)を活用したカーボン・オフセットを実施しました。

2015年3月の2回目の制度参加時には、地産地消による地域循環の取組みをデコスに関連深い山口、長崎、埼玉

の3地域と連携して拡大展開し、ポイントを活用した植樹を3箇所にて実施しました。

これら一連の活動を通じて建築業界で省CO₂化を促進するとともに、推進する国産材による建物づくりに欠かせない森林の持続可能な経営に貢献します。



どんぐりポイント制度とは?

CO₂の排出量を減らしたどんぐりマークの製品やサービスに対して「どんぐりポイント」を付ける制度。そのポイントを集める消費者の購買促進やポイントの還元を通じて、これらの製品やサービスの普及拡大を図ることを目的としています。

- ① 各地域の建築物件で使用された建築用断熱材「デコスファイバー」に係るCFP値を基に、各地のJ-VERクレジット(大分:株式会社トライ・ウッド、長崎:対馬市、埼玉:もくねん工房)を活用し、全量カーボン・オフセットを実施。
- ② CO₂排出量を他の場所で削減したCO₂で埋合せた「実質排出ゼロカーボン断熱材」とし、新築ユーザーにどんぐりポイントを付与。
- ③ このポイントを、どんぐりポイントサポーター[長崎:ヤベホーム(株)、埼玉:NPO法人 西川・森の市場]を経由し収集。どんぐりポイントコミュニティ[山口:安成工務店ユーザーの会「やすら木会」]が実施。
- ④ 集めたポイントは、新築時に使用した構造材とおおよそ同数のスギなどの苗木に還元され、それぞれの地域の山[大分県日田市、長崎県対馬市、埼玉県飯能市]における植樹活動へ寄附・活用。

Voice 4

株式会社
 トライ・ウッド

企画営業部

渡邊 雄一郎 様



安成工務店のすごいところは 環境活動の輪の広げ方です。

森林吸収によるカーボン・オフセット事業は、林業の環境貢献度を消費者に理解してもらう良い手法です。

安成工務店の関連会社デコスとのつながりは、カーボン・オフセットによるどんぐりポイントに協力させて頂いた事が始まりです。

どんぐりポイントによる植林ツアーにも協力させて頂きました。津江杉の良さを伝えるだけでなく、植林体験から林業と環境のつながりを伝える事ができました。消費者に納得して津江杉を使ってもらう事が環境貢献度の高い森林作りに繋がると確信しています。安成工務店グループの活動で最も驚いたことは、植林活動や講演などを通して、環境活動の輪を消費者や他の工務店にまで、ノウハウも含めて広げている所です。この点からも安成工務店グループが企業活動を通じて、社会全体を豊かにしていくという決意が伺えます。

近い将来CO₂排出ゼロ住宅が当たり前の時代が来るかもしれません。そんな時代を一番待ちわびているのは、安成工務店グループだと思っています。そんな時代になっても、安成工務店グループは、更にその先を走る環境貢献企業のトップランナーであり続けると確信しています。

デコスファイバー
 日本全国出荷累計
28,249棟分
 (2015年12月末現在)

建物の高断熱化に向けてデコスファイバー



安成工務店グループによる家づくりのポイント「高断熱化」で重要な役割を担っているのが、新聞紙をリサイクルした木質繊維系多機能断熱材「デコスファイバー」です。


セルローズファイバー断熱材の「デコスファイバー」は、乾式吹込み工法「デコスドライ工法」によって壁体内へ隙間なく充填され、高い断熱性能を発揮します。断熱性・調湿性・吸音性の他に省エネ・省CO₂性など、数多くの特長を併せ持ち、安成工務店グループの住宅には欠かせない素材の一つです。

デコスファイバー&デコスドライ工法の特長

	1 断熱性	冬暖かく、夏涼しい快適空間
	2 調湿性	湿度を調整、結露対策に効果的
	3 吸音性	高い吸音性能で快適な住環境
	4 安心・安全	火事に強く万が一にも安心
	5 健康	カビ・ダニの発生原因を防ぐ
	6 省エネ・省CO₂	人にも財布にも、地球にやさしい
	7 防カビ防虫	カビはもちろんシロアリも防ぐ
	8 耐久性	カビ・結露を防ぎ、建物が長持ち

Voice

一般社団法人
 産業環境管理協会
 製品環境部門 副部長
 兼 地域支援ユニット
 ユニット長
壁谷 武久 様

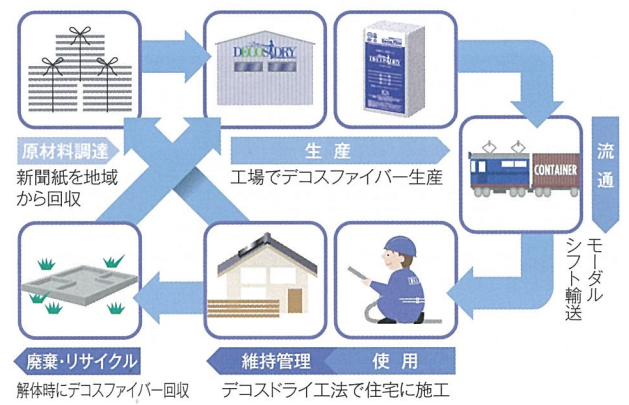


山口工場の取り組みに感動しました。

企業様の総合的な環境管理を支援する当協会と安成工務店グループとは、デコスがカーボンフットプリント(CFP)へ取り組まれた時からお付き合いさせて頂いております。完全ゼロからのスタートでしたが「ユーザー様に自社製品の環境性能を伝える手段を形として持ちたい」という強い想いが結実し、無事CFPの使用許諾を取得されたことは大変嬉しく思っております。

山口工場の、森林等の自然資本を企業活動と見事に融和させた取り組みに感動したことが印象に残っています。地方創生が叫ばれる中、地域での仕事興しや雇用の創出など地域循環の構築にも貢献され、メディア・取引先・同業他社など様々なステークホルダーとの協働など常に新たな仕掛けづくりにまい進させる姿勢には、敬服しております。安成工務店グループのご活躍に今後も期待しています。

デコスファイバーのライフサイクル



断熱改修リフォーム(ハウズドクター山口)

リフォーム需要の実態はまだまだ使い勝手や設備改善リフォームが主体です。欧米並みに住宅資産が長くその価値を保つ社会をつくるには、構造、外部開口部、断熱といったシェルを構築する「躯体」の改良が何より大切です。

ハウズドクター山口では中古住宅の評価・診断を行い、耐震改修(耐震チェック)、断熱改修(窓含む)を一体的に行う「断熱改修」を積極的に実施しており、断熱改修診断シートで光熱費の改善を見える化しています。



日本初!!
3社による家づくり
サプライチェーン
CFP認定

CFP建材を使用した家づくり



安成工務店の木の家づくりに欠かせない、天然乾燥木材「輪掛け乾燥材(トライ・ウッド)」とその加工をする「半自動プレカット(エコビルド)」、新聞紙をリサイクルした断熱材「デコスファイバー(デコス)」を供給する3社が、日本で初めて、家づくりのサプライチェーンとしてCFP(カーボンフットプリント)の認定を取得しました。さらにエコビルドとデコスの工場は同じ敷地内にあり、各々の工場がCFPをもつことで、他の家づくりに無い省CO₂性能を実現しました。

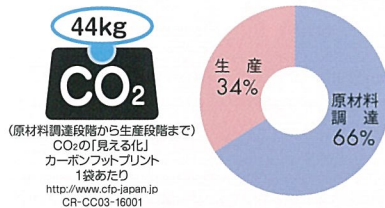
安成工務店では、低炭素社会の構築に向け、省CO₂性能に優れた建材を使用することで、さらに、環境にも人にも優しい家づくりを推進します。



輪掛け乾燥材(トライ・ウッド)

風通しの良い山土場に丸太のまま井桁を組み、1年間しっかり天然乾燥させる木材。熱やエネルギーを多く使う人工乾燥材とは違い、本来の木が持つ調湿機能や色、香りを損なわない美しい構造材です。

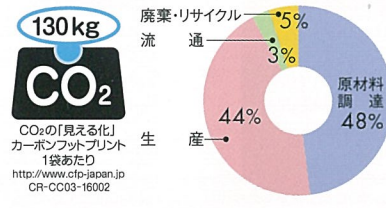
44kg-CO₂e(製品材積1m³あたり)



天然乾燥化粧構造材(エコビルド)

全自動ではなく、人の手が多く介在する半自動プレカット。トライ・ウッドから納入された木材を、「木くばり」できる職人が一本一本異なる木の特性を見極め、柱や梁桁などの適材適所の化粧構造材を生み出します。

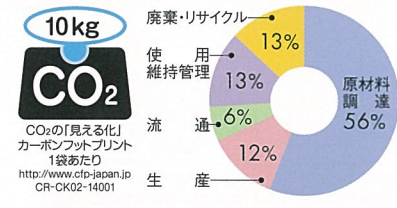
130kg-CO₂e(製品1m³あたり)



デコスファイバー(デコス)

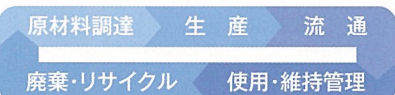
断熱材デコスファイバーは他の断熱材と違い、火や水を使わず電気のみで生産。JR貨物によるモーダルシフトやゼロ・エミッションを達成した工場などにより、非常にCFP値の低い建築用断熱材となりました。

10kg-CO₂e(製品1袋15kgあたり)



●カーボンフットプリントとは

カーボンフットプリント(CFP)とは、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組みです。デコスファイバーは2011年に建築断熱材として日本で初めてCFP認定を取得しました。2016年にトライウッドとエコビルドが新たに取得しました。



「木くばり」の出来る半自動プレカットで
化粧構造材を加工する



プレカットと言えば、コンピュータ制御による全自動加工が主流です。しかし、私たちが「伝統の技と最新の技術を活かす」ため、半自動にこだわります。それは、木材を吟味するため人の目で向きや用途を1本1本見極め、接合部の仕口は機械で精緻に加工するためです。自然素材を活かす木の家具づくりに最も適した確かな加工方法で、お客様の期待に応えます。

プレカット工場の端材でペレットを製造



プレカット工場では木材を無駄なく使うため、端材を利用した木質ペレット燃料を製造しています。ペレットは端材を破砕し、圧力をかけて固形化したもの。製造されたペレットは安岡工コタウンの集中冷暖房システムやお客さまのペレットストーブ用燃料として活用されています。

DEVELOPMENT COORDINATION SYSTEM

株式会社 デコス

新聞紙をリサイクルした木質繊維系多機能
断熱材「セルロースファイバー」を製造



「心地よい木の家づくり」を求めて試行錯誤を重ね、私たちがたどり着いた断熱材が新聞紙をリサイクルした木質繊維系多機能断熱材「セルロースファイバー」です。

JISによる厳しい品質基準に適合した綿状の断熱材は、構造躯体の木材を同じ特性を持ち、木の家づくりに最適です。山口工場ではNPO法人e小日本きくがわと協働し、新聞紙の地域回収し原材料に使用～地域通貨発行で学校備品などへ還元する活動を行っています。また、「断熱は施工が命」という考えのもと、デコスドライ工法施工代理店による責任施工で、壁体内無結露20年保証制度を行っています。



ようこそ！
エコビルドツアーへ



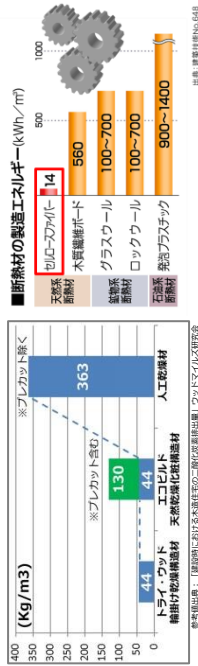
●ごあいさつ

本日はそーれきかがわ「エコビルドツアー」にご参加いただきありがとうございます。
 私たち安成工務店グループは、人にも環境にもやさしい「心地よい木の家づくり」を目指しています。このツアーでは、普段見ることのない様々な木の家づくりの工程を、説明と実体験を通じて理解を深めていただくことが出来ます。ぜひ、気になったことはどんどんご質問いただき、皆さまの家づくりにお役立てください。

日本初！ サプライチェーンによる CFP 認証取得

私たち安成工務店グループは、木材調達先の大分県トライ・ウッドとも連携し、木の家づくりに必要な建築材料(構造材・断熱材)でのCFP認証を取得しCO₂排出量見える化を推進しています。日本初であるこの取り組みは、建築時の省CO₂性能に優れた家づくりを目指す当社グループの環境や省CO₂に対する想いをわかりやすく皆さまに伝えるためのものです。

エコビルド		デコス	
製品	プレカット木材	断熱材デコスファイバー	
省CO ₂ の取り組み	・近くの山の木を使用 ・天然乾燥「輪掛け乾燥」	・新聞紙リサイクル使用 ・モーダルシフト輸送 ・極めて低い製造エネルギー	



●エコビルドツアー見どころマップ



エコビルドツアーは年間を通じて毎月開催



トライ・ウッドCFP



原料は国産材(杉・ヒノキ)を使用
 CO₂の見える化
 カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
 CP-C002-16001

構造材のトレーサビリティ表示
 大分県トライ・ウッドの輪掛け乾燥材(中間財)のCO₂排出量は44kg/m³
 太陽と風のみで1年間じっくり天然乾燥するため環境負荷が極めて小さい



半自動・職人の手刻みによるプレカット

エコビルドCFP



トライ・ウッドの輪掛け乾燥材をエコビルドにて半自動プレカットこの構造材の一生で発生するCO₂排出量は130kg/m³
 化石燃料を使う高温乾燥材に比べ、低い数値で環境にやさしい



セミナールームでの施設概要説明



端材から木質ペレットを製造



トライ・ウッド津江杉構造館

木の家づくりを通じて学ぶ環境教育

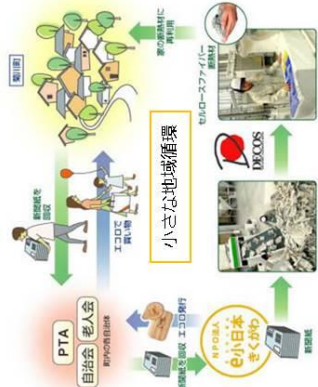


新聞紙をリサイクルしてつくる木質繊維系多機能断熱材セルロースファイバー

デコスファイバーCFP



日本初！建築用断熱材CFP認証品「デコスファイバー」発生するCO₂排出量は10kg/袋(15kg入り)他の断熱材に比べ大幅に低い数値で環境に極めてやさしい



NPOと協働した新聞回収システム

「そーれきかがわ」

2005年に稼働した安成工務店グループ複合施設の総称。半自動プレカット工場・ペレット製造プラント・セルロースファイバー断熱材工場・津江杉構造館などで構成。

「CFP(カーボンフットプリント)」

CFPとは、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通じて排出される温室効果ガスの排出量をCO₂換算してわかりやすく表示する仕組みです。